

## 第5章 今後の取り組み

### (1) 公園の整備プロセス

公園整備のプロセスは、一般的に次のような流れで実施されています。

① 基本構想

↓  
公園のコンセプト等を明らかにし、公園整備の基本方針を決定する。

② 基本計画

↓  
基本構想でのコンセプト、基本方針を踏まえ、施設の規模、配置、形態等を想定するとともに概算工事費を算定し事業計画の方針を確立する。

③ 設 計

↓  
基本計画において定めた基本的な内容に基づき、設計条件との整合を図り、工事を実施できる設計図書を作成する。

④ 施 工

↓  
設計図書に基づき、公園施設工事を実施する。

⑤ 管 理

公園施設の維持・日常管理を行う。

### (2) あやめ公園再整備の進め方

今後、この長井市あやめ公園再整備計画基本構想に基づき、関係機関と連携し、財政状況を踏まえながら、長井市にふさわしいあやめ公園の再整備の実現に向け、順次着手してまいります。

具体的には、国土交通省や環境省の補助金・交付金による整備事業を活用して財政負担の少ない手法を、まず検討してまいります。整備箇所ごとに、社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の公園施設長寿命化対策支援事業や都市公園ストック再編事業、公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業やユニバーサルデザイン化事業などが対象）などのメニューに合致する実施計画を作成していくこととします。

整備全般として、近年、日本全体の少子化傾向が進む中、人口減少を踏まえて施設規模の設計を進める必要があります。一方で、ベビーカーや車いすの利用でも安心して楽しめるようなバリアフリー化や、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点では「新しい生活様式」への対応として距離・空間の確保の

ためにゆとりある施設設計も必要です。こうしたことは、持続可能な開発目標（SDGs）（注1）に沿った整備でもあります。また、インバウンドの誘客促進という観点では、外国人観光客にとって魅力的な風景があり、わかりやすい案内表示や情報発信がされていることも重要です。長井古種の魅力を後世に伝えるとともに、訪れるすべての人が快適であり、美しいあやめが咲き誇る公園を将来へと残していけるよう整備していきます。

---

（注1）持続可能な開発目標 SDGs（エスディージーズ）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成されています。関連する項目としては、「2030年までに、女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する（ゴール11・ターゲット7）」や「あらゆるレベルにおいて、有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる（ゴール16・ターゲット6）」が掲げられています。

## 【資料編】

### あやめ公園再整備検討委員会名簿

No.		所 属	氏 名
1	委員長	学識経験者	二宮正一
2	副委員長	シルバー人材センター副理事長	松木政則
3		長井市観光協会	手塚隆幸
4		長井市観光協会	高橋郁子
5		長井商工会議所青年部	鈴木智子
6		ながい黒獅子の里案内人会長	田中健三
7		地区長連合会会長	神田忠正
8		横町地区長	佐藤清藏
9		長井青年会議所理事長	小関幸一
		長井青年会議所理事長 (R2.3月～)	齋藤圭央
		長井青年会議所理事長 (R3.3月～)	齋藤憲幸
10		長沼合名会社社氏	長沼真知子
11		やまがたアルカディア観光局係長	沼澤 亨
12		地域おこし協力隊	工藤裕太
13		公園管理専門員	今野一彦

### あやめ公園再整備検討委員会開催状況

【第1回】平成31年3月28日 市役所第1委員会室

庁内での検討経過を説明し、あやめ公園の現状や期待することなど意見交換を行った。

【第2回】令和元年6月28日 あやめ公園内あやめ会館

あやめ公園の現地踏査を行い、現状を見ての整備課題を協議した。また、市民が集う公園としての整備ポイントと、誘客のための整備ポイントについて意見交換を行った。

【第3回】令和元年10月25日 市役所第1委員会室

課題を確認しながら再整備の方向性と具体的な整備項目を協議。市民アンケートの結果を検証した。

【第4回】令和2年3月2日 市役所第1委員会室

集約した意見をジャンルごとに整理し、再整備の方針案について協議を行った。

【第5回】令和2年10月14日 あやめ公園内あやめ会館

再整備の方針案の協議。再整備のコンセプトや構想書のまとめ方について意見交換。

【第6回】令和2年12月22日 市役所第1委員会室

再整備構想図についての意見交換と再整備コンセプトを協議した。

【第7回】令和3年3月9日 ふらり視聴覚室

構想書について協議し、案を策定。併せてパブリックコメントの確認を行った。

## あやめ公園等の沿革

- 明治 17 年 小出地区民が公園づくりを始める。池を掘り、松を植え、「松が池公園」と命名。翌年完成。

- 明治 20 年 宮ドンタク場（オランダ語で日曜日の意味・現あやめ公園の西道路沿い地域）で象の見世物。  
 總宮神社西の道路で河岸段丘になっている北の方を「坂の下」、南の方を「坂の上」と言っていた。元来、坂の下は「ドンタク場」と称し、米沢から荒砥へ通ずる宿場で茶屋等が道路両側に栄えていた。



（現 坂の上から坂の下方面）

- 明治 22 年 小出村と宮村が合併、長井町となる。
- 明治 24 年 1 町 8 反 7 畝余の田圃を買収、松が池公園拡張。
- 明治 28 年後 高台に吉野桜植える。
- 明治 29 年 松が池（つつじ）公園 第 1 回目の拡張工事。七兵衛つつじを公園に移植。仙台の釈迦堂より桜を買い求め植える。
- 明治 31 年前 高台下に桜植える。

- 明治 34 年 宮公園高台南に娯楽施設「偕楽館」が建つ（別名 長井座）

- 明治 40 年 宮公園開園。
- 明治 41 年 長井町宮公園の絵葉書（写真→）



- 明治 41～43 年 七兵衛つつじを全部、つつじ公園に移植。
- 明治 43 年 国鉄長井線敷設誘致運動の費用を捻出するため、現在のあやめ公園高台下付近の杉林を伐採開墾する。

- 明治 43 年 金田勝見が経営する茶屋の近くにある 5 畝（5 アール）ほどの畑に数十株の花菖蒲を植え、あやめ公園の創始となる。棒鱈煮が名物。（→）



- 明治 45 年 宮区所有の杉林 10 町歩（10 ヘクタール）を伐採した機会に、区会議員・長沼惣右衛門と加藤嘉津馬が遠藤安兵衛らにあやめを植付けさせた。

- 大正 3 年 宮公園を「あやめ公園」と命名し、町営となる。  
 長井・赤湯間の長井線開通。初めて長井に電灯がとも

●大正 4 年

る。(→ 駅前通り巴屋前)

外田公園完成。

最上川沿いに桜植樹（最上川堤防千本桜）



■大正 7 年

あやめ公園にぼんぼり灯す。

■大正 8 年

吉野桜（ソメイヨシノ）が植えられる。

■大正 10 年

金田屋売店の絵葉書、あやめ公園の絵葉書。金田勝見氏死去。

■大正 11 年

長井町で果樹園を買収しあやめ公園を拡張。1.5ヘクタールに。

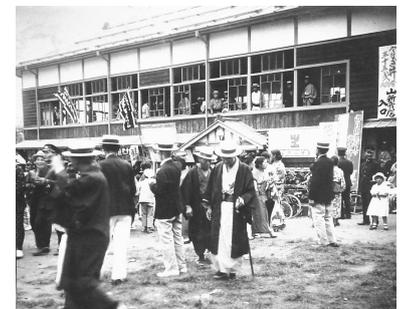


■大正 12 年

長井線、赤湯・荒砥間全線開通。あやめを米沢から求める。

■大正 13 年

北斗会（長沼惣右衛門・加藤嘉津馬・手塚正三郎・中村源蔵ら）が公園を拡張する。昭和 8 年の北斗会とは別物。



●大正 13 年

久保ザクラ国指定天然記念物に。

■大正 15 年

總宮神社参道に敷石と唐獅子、東郷平八郎揮ごう社標が奉納された。

■昭和元年～

あやめ公園に掛小屋。サーカス・オートバイ絶壁乗り・学者犬・犬猿の曲芸・生きた蛇を食う美少女・一寸法師・地獄極楽・移動小動物園・化物屋敷等が高台に並んだ。



■昭和 2 年

あやめを、北海道・京都・広島から求める。

■昭和 4 年

太陽自動車学校橋田校長の提供であやめ公園上空を飛行機がデモ飛行。

●昭和 4 年

成田・安部林蔵個人経営の萩公園開園

■昭和 5 年

佐藤町長（通称あやめ町長）があやめ公園の拡張、施設の整備・花園の研究などを中央の要人に依頼し着々実施、中央噴水と池を整備した。面積が 2 町歩（2ヘクタール）。掛小屋、最盛期は売店 45 軒ほど。



山形新聞社主催による山形県一十秀決選リレー投票であやめ公園が名所の部で第一位となる。窪田県知事は記念碑に「山形県一名所」と揮ごう。(写真←) 国鉄もまた大々的に宣伝に乗り出す。これを記念して中央噴水を造成。観客のために長井線で初めて臨時列車。臨時列車が長井駅に着くと、佐藤鶴吉町長が羽織袴姿で出迎え、歓迎の花火を打ち上げた。



■昭和 8 年

北斗会が高台に「あやめ会館」を建設する。会館の建設と運営を行うため、北斗会を立ち上げた。出資者として、芳賀作右衛門・長沼惣右衛門・長沼清蔵・加藤嘉一・遠藤利吉・長沼市太郎・芳賀孝吉の 7 名。あやめ会館は公益的な運営であったが、太平洋戦争中の昭和 18 年まで続いた。解体後、東京電気長井工場の事務所に。



民営のカフェー（3 階建て・グリーンホール）が完成。（写真 →）



会館の名称は公募によるもので、高橋忠吉のものが採用、賞品は米 1 俵。高橋忠吉は、明治 28 年に宮内に生れる。

丸大扇屋に丁稚奉公、川柳家でもあり、あやめ公園開園記念碑建立に発起、昭和 29 年の長井あやめ愛好会発起人会の代表となる。

長井音頭、長井小唄制作企画がおこり、山形新聞紙上で歌詞の募集を行う。音頭小唄作詞はそれぞれ佐藤信行、新野武が当選。長井音頭：作詞・佐藤信行 作曲・大村能章 唄・分山田和香。長井小唄：作詞・新野武 作曲・森儀八郎 編曲・大村能章 唄・松島詩子。



あやめ宣伝ポスター印刷（原画は長井高等学校教諭 浦とし作）（山形運輸事務所発行）。

公園の夜景を撮影した写真があやめ公園写真 1 等賞に。（撮影：大河原正司 東京）後に絵葉書となる。

■昭和 10 年 あやめ公園に滝と築山を造成。あわせて、園内に桜植える。（→）金田勝見の顕彰碑を建てるべく発起。



演芸館で「東海林太郎アトラクション」を興行（レコード販売店、呉服商が中心）恋のぼんぼり 作詞：浦季子 作曲：山田栄一 唄：東海林太郎 あやめ踊り 作詞：佐藤信行（里宇春耕） 作曲：山田栄一 唄：ゞ香

■昭和 12 年

あやめ公園に開園記念碑建てる。7 月 11 日、長井川柳社主催「あやめ川柳大会」で除幕式を行った。

■昭和 13 年

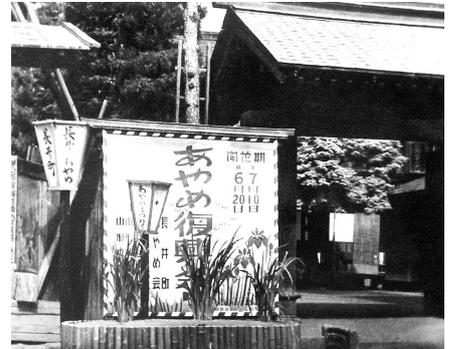
長沼孝三作のあやめ公園ポスター。工費 200 円をかけ、公園内に水泳場を作る。

■昭和 17 年

あやめ公園、高台を町内会に貸付けし、野菜畑となる。

- 昭和 18 年 料理屋貸座敷業者の転業廃業あいつぐ。  
あやめ会館が、東芝長井工場の事務所に売却される。
- 昭和 20 年 明治神宮から花菖蒲の苗を譲り受ける。品名株数不詳。
- 昭和 23 年 失業対策事業であやめ公園の復旧にとりか

かる（昭和 42 年まで）。  
花菖蒲を明治神宮から譲り受ける。品名株数不詳。近郷の民家に協力を願い、花菖蒲苗を寄付してもらう。種類は不明。埼玉県安行から一株 15 円で 500 株買い求める。あやめ復興祭開かれる。  
堤防の桜 50 本もあやめ公園復活を記念して、寄付によって植えられた。



- 昭和 26 年 高橋忠吉は、花菖蒲が年々丈が短くなり花の色つやを失っているという世論から、同好の寺島・玉橋・斉藤・安部・柿間とグループを作り、あやめ鉢栽培を始める。

- 昭和 27 年 長井あやめ鉢作り愛好会発起人会開かれる。発起人会の代表に高橋忠吉。
- 昭和 28 年 初めて、あやめの宣伝カーを県外（福島・仙台・郡山）まで走らせた。

- 昭和 29 年 公園西北の森林を切り開き 90 万円であやめ会館（木造平屋建）建設。曙園（はぎ園）で第 1 回鉢づくり鑑賞会を開く。



11 月 15 日 長井市誕生 人口：37,429 人 あやめ公園も長井市の管理となる。

- 昭和 30 年 日本花菖蒲協会・平尾秀一氏来市。  
町の協力を得て、第 2 回あやめ鉢作り展示会を中央部（現在のココス）で開催。

- 昭和 31 年 長井あやめ愛好会が 3 月 18 日に発足。会長に、当時の助役・羽田貞三、副会長に高橋忠吉。会員 8 名。

- 昭和 33 年 長井あやめ鉢作り愛好会が長井駅、山形交通待合室、市役所、郵便局で鉢づくりのあやめを展示。平尾先生との関連は別添。

- 昭和 34 年 あやめ公園に鉢づくり展示場を設置、あやめ愛好会が展示。あやめ鉢づくり展示会始まる。

- 昭和 37 年 日本花菖蒲協会の井上清会長、平尾秀一理事長ほか 30 余名（あやめ愛好会 40 周年の歩みでは 27 名）が、長井を訪問。遍照寺で講演会、座談会が開かれる。翌日あやめ公園で平尾理事長らが 30



数種の長井古種と呼ばれる珍花を発見。

あやめ公園が日本花菖蒲協会の鑑賞園に指定される。

あやめ公園開園 50 周年記念に野川河畔で花火大会、220 万円予算。



- 昭和 38 年 明治神宮から江戸系花菖蒲 27 種 200 株を譲り受ける。

品種と株数

夕日潟 (6 英) 5 株／仙女の洞 (6 英) 10 株／鳳凰城 (6~8 英) 10 株／真鶴 (6 英) 5 株／熊奮迅 (6 英) 5 株／剣の舞 (6 英) 5 株／錦の褥 (3 英) 5 株／鳳台 (6 英) 10 株／黒雲 (6 英) 10 株／佐野の渡 (6 英) 10 株／四方海 (3 英) 10 株／濃仙女 (6 英) 5 株／和田津海 (3 英) 5 株／秀紫 (3 英) 10 株／加茂川 (3 英) 5 株／桜川 (6 英) 10 株／滋賀の浦波 (6 英) 15 株／浪波乗舟 (3 英) 5 株／七小町 (6 英) 10 株／大鳴海 (6 英) 5 株／大紫 (6 英) 5 株／葵祭 (3 英) 5 株／初鴉 (6 英) 5 株／五月晴 (6 英) 10 株／蛇籠の波 (6 英) 5 株／淡仙女 (6 英) 5 株／沖津白波 (6 英) 10 株 計 27 種 200 株



(町議会議員の地方自治法勉強会に、明治大学の小島憲博士をお呼びし、あやめ公園視察の際、明治神宮の苗を分けてもらえるよう宮司に話す旨のことあり。それがきっかけ)

「長井ブルース」「長井盆唄」を発表。第 1 回長井おどり大パレード開催。長井市章制定。長沼孝三氏による。あやめがモチーフ。

- 昭和 41 年 あやめ愛好会が、市からあやめの養成肥培委託を受ける。

- 昭和 42 年 あやめ愛好会が仙台 NHK テレビの取材を受ける。

- 昭和 43 年 あやめ公園管理人を公募。

萩公園を公営とし、長井市観光協会が管理。

- 昭和 46 年 日本花菖蒲協会から「花菖蒲大図譜」発刊。朝日新聞社刊。長井古種 15 種掲載。

- 昭和 47 年 長井あやめ愛好会の一行、平尾秀一氏の案内で、東京京王百花苑・明治神宮の花菖蒲園を見学、のち潮来も。

- 昭和 48 年 あやめ会館（現在の）が新築。公園も有料となる。あやめ鉢展示場を新設。

- 昭和 49 年 平尾秀一氏来訪。

- 昭和 51 年 第 1 回ミスあやめコンテスト開催。長井市在住の応募者はない。

- 昭和 52 年 日本花菖蒲協会平尾理事長以下 25 名来市。
- 昭和 53 年 長井市観光協会があやめ苗販売。あやめ育成研究会が立ち上がる。
- 昭和 54 年 日本花菖蒲協会平尾理事長来市、植え替え後の園内あやめを検分。
- 昭和 55 年 市民の木「つつじ」、市民の花「あやめ」決まる。  
開園 70 周年記念行事を開催。開園 70 周年記念碑として碑のデザインを長沼孝三氏が行う。  
日本花菖蒲協会平尾理事長の「あやめ栽培講演会」が開催され、また同氏からあやめ公園において将来の公園改造構想について指導を受ける。
- 昭和 56 年 あやめ公園入園料、大人 300 円、子供 100 円に。  
長沼孝三デザインによるあやめ公園 70 周年碑建立。  
静岡県掛川市の加茂花菖蒲園から苗を購入。  
鈴木倉雄、高橋忠吉手記「あやめ公園回想記」を複製、図書館に。
- 昭和 57 年 芳文に「花菖蒲古種花かつみの由来をさぐる」と題して飯澤半衛門寄稿。
- 昭和 58 年 あやめおとぎの国開設。
- 昭和 60 年 長井市花いっぱいコンクール始まる。
- 昭和 61 年 あやめ公園が長井市観光協会に管理を委託。入園料大人 500 円、子供 200 円に。  
観光協会に、あやめ育成会が発足。会長に柿間俊平氏。  
第 11 回ミスあやめコンテスト開催。最終回。
- 昭和 62 年 あやめ育成専門指導員が配置される。柿間俊平氏。
- 昭和 63 年 地場産業振興センターで第 1 回あやめ切り花展開催。  
長井あやめ愛好会が「花菖蒲品種一覧」を発刊。
- 平成元年 入園料大人 510 円、小人 200 円に。  
第 2 回あやめサミットを長井で開催
- 平成 2 年 長井古種 13 種が長井市指定天然記念物に。
- 平成 3 年 あやめ育成専門指導員柿間氏辞任。
- 平成 4 年 通年公園を目指し、平成 8 年まであやめ公園改良工事が行われる。総工費 5 億 3 千 3 百万円。  
須貝三男氏、芳文に「花菖蒲」連載始める。16 回連載。
- 平成 6 年 第 1 回水まつり開催。
- 平成 7 年 京王百花苑から花菖蒲 5 万株を譲り受ける。
- 平成 8 年 フラワー都市交流協議会総会を長井市で開催。  
あやめ公園あやめ通り口に、長井と白石のライオンズクラブが姉妹クラブ 30 周年記念の時計付きモニュメントを建てる。  
長井市が花のまちづくりコンクールの市町村部門で農林大臣表彰を受賞。
- 平成 9 年 入園料大人 520 円、小人 210 円に。



- 平成 11 年 日本花菖蒲協会の総会を長井市で開催。
- 平成 12 年 あやめ公園開園記念碑を公園中央に移転。  
水上ステージを改修。  
長井おどり大パレードを休止。  
ボランティアガイド「黒獅子の里案内人」設立。
- 平成 13 年 無料休憩所前の八ツ橋改修。  
あら館あやめ愛好会に圃場の一部 120 m<sup>2</sup>を委託。  
長井小学校 6 年生親子があやめ植え替えを体験。  
芳文 263～265 号に「あやめ公園回想記」高橋忠吉著を紹介。  
あやめ公園改革委員会を設置、あやめ公園の再生を目指す。
- 平成 14 年 あら館あやめ愛好会に、さらに圃場の一部 140 m<sup>2</sup>を委託、長井あやめ愛好会に圃場の一部 200 m<sup>2</sup>を委託。  
あやめ公園駅が民間の力で設置される。  
あやめ栽培の技術向上のためのあやめ育成研究会議を立ち上げる
- 平成 18 年 フラワー都市交流長井市総会。あやめ公園内に交流都市の花を植える。  
入園料大人 700 円、小人 300 円に。
- 平成 19 年 あやめ祭り中に長井産花菖蒲の無名花に命名コンテストを開催。
- 平成 21 年 地場産業振興センター、あやめ切り花展をこの年で終了。  
第 1 回夢灯りイベントを長井 J C が開催。
- 平成 22 年 あやめ公園 100 周年記念事業開催。  
入園料大人 500 円、小人 200 円に。  
あやめ切り花展に変わり、丸大扇屋を会場に「あやめ大華展」を開催  
川床茶屋を開設。第 1 回黒べこまつりを開催。  
長井産長井系 20 品種を日本花菖蒲協会に新品種登録。
- 平成 23 年 あやめ愛好会が活動を閉じる。
- 平成 24 年 日本花菖蒲協会の観賞旅行で会員 20 名が長井あやめ公園に来訪。
- 平成 27 年 あやめ公園再整備計画庁内検討会議設置。
- 平成 29 年 フラワー都市交流連絡協議会長井市総会。玉崎浩志先生の指導であやめ公園内に交流都市の花壇制作。
- 平成 31 年 あやめ公園再整備検討委員会設置。
- 令和 3 年 あやめ公園再整備計画基本構想策定。